

# 令和3年度かみふくおか作業所事業計画(案)

## はじめに

かみふくおか作業所は、就労継続支援B型事業を行い、利用者一人ひとりが住みなれた地域でいきいきと生活できるため、施設の就労支援としての役割に加え、余暇支援についても、利用者への細やかな支援を行えるよう、検討・準備・実施・評価・見直しを繰り返して、支援を行うことを目指します。また、新型コロナウイルス感染症対策に最大限努めます。

## 基本方針

利用者への社会モデルを基調とした個別支援計画を基に、労働や生活、社会生活力獲得に向けた取り組みを通して、社会的活動の広がり自立への支援を推進し、地域に根ざし開かれた施設運営を目指します。

### 1 支援の充実を図ります

#### (1) 作業支援

利用者が住み慣れた地域で生活するため、地域社会の人々と交流をもつ手段として協力者宅への回収を行い、その作業から派生する古本・古着・バザー品の販売を通して、より具体的な関係の構築のため、感染症に配慮した「出張トトロ」による販売を展開しています。これらの作業を通じて体力の維持、健康の留意に努め、また、内容を充実させるため利用者個々にあったPCプログラムや治具などの開発や作業環境の効率化を図り、以下の作業支援を行いながら、地域生活に必要な経済的基盤の構築を目指します。

- ア 資源回収作業(毎日実施:電話受付、固定協力者回収)
- イ 古本販売作業(作業所の店、イベント、インターネットでの販売)
- ウ 古着販売作業( " )
- エ 缶つぶし作業(毎日実施)
- オ 清掃受託作業(週1回)
- カ バザー品・リユース品販売作業(作業所の店、イベント、業者への販売)
- キ 食品受託販売(作業所の店、イベントでの販売)
- ク 内職作業(缶つぶし作業の合間)

#### (2) 生活支援

利用者の健康を保持・増進し、地域社会の中でより豊かな生活を促すため、日常生活活動動作(生活習慣病予防や家事など)への支援を行います。

健康診断を実施するとともにインフルエンザ等の感染予防・防止対策など健康管理に努めます。

グループホーム利用者に関しては、ホームとの連携と保護者との連絡の体制を持ちます。

### (3) 通所支援

安全の確保を最優先に支援を行います。また自力通所を希望しない利用者へは、一層の安全確保、指定された場所からの送迎を行います。自然災害の恐れのある場合の対応を図ります。グループホーム利用者の通所退所は送迎を実施します。

### (4) 行事

行事という非日常的体験を通じて利用者の様々な社会経験を重ねるため、その計画段階から利用者の参加を促し、地域交流を深めることや社会生活スキルを高めるための必要な支援プログラムの構築を図りながら、その一つ的手段として各種イベントの実行委員会に利用者が実行委員として参加します。また、月に一度ごちそうで一を実施します。

### (5) 余暇支援

利用者が生活の中で必要としている、作業や日常生活活動動作でない第三の活動としての余暇を、行事等の体験を通じた利用者への情報提供という形で、施設として実施可能な方法として行います。

### (6) 就労支援

利用者の新たな人間関係の構築と自己決定の機会をつくり、将来の自立を促すため、企業実習や社会交流学習として他施設等への実習のための支援プログラムを検討します。

### (7) 相談支援

利用者・家族が安定した生活を送ることができるよう、また就労に向けて情報提供や相談支援をします。

## 2 円滑な運営と業務の推進を図ります

- (1) 利用者一人ひとりのニーズを把握し、個別支援計画の充実を図ります。また、虐待防止のため、個別支援計画のあり方の検討をします。
- (2) 作業所での支援水準を高めるため職員研修を実施し、職員間でその内容の共有を図ります。
- (3) 施設、備品などの整備に努めます。また、今後予想される災害・感染症に備えた備蓄をします。
- (4) 市民への理解と協力を広げるため定期的に作業所新聞を発行するとともに、作業所の SNS で情報の提供を行います。
- (5) 通所や施設の安全対策や危機管理、防災訓練について重視して取り組みます。
- (6) 安定的な施設経営のため、利用者の確保や日中一時支援、福祉現場実習等を積極的に受け入れて収入の確保を図るとともに、事業を見直して支出を抑えられるよう努めます。

## 3 利用者、家族との連携を図ります

- (1) 定期的に保護者会を開き連携を強めます。また、利用者の地域における居住の場の確保としてのグループホーム等について引き続き協働して検討します。
- (2) 支援計画の確認を定期的に行うとともに、利用者、家族へ必要な情報の提供を行います。

## 4 地域の連携を図ります

- (1) 行政、地域の協力団体等と協力関係を深め、施設の発展充実に取り組みます。
- (2) 作業所をアピールし、障がい者の理解を深めるため、各種行事に積極的に参加し、出張トトロを開催します。
- (3) 特別支援学校等や福祉系学校から実習生を幅広く受け入れます。また、福祉系学校からの実習生の受入れ時に、守秘義務の承諾を受けた場合に利用者の個人情報の開示を行ないます。
- (4) ボランティアを受け入れます。

## 5 日中一時支援事業を実施します

介護者の負担軽減、冠婚葬祭等の一時的な需要に対応するため、日中一時支援事業を実施します。(ふじみ野市在住者対象)

事業実施計画

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

月	施設行事	地域・その他
4	花見	
5	ハイキング	
6		いきいき運動会
7		
8	歯科検診	
9	防災訓練	
10		環境フェア
11	健康診断	
12	忘年会	ふれあい広場
1		
2	社会見学 防災訓練	
3	レクレーション	

※関連イベントには必要に応じ参加する。また毎月古本販売「出張トトロ」や「ごちそうで一」、不定期に「非常食の日」を実施します。